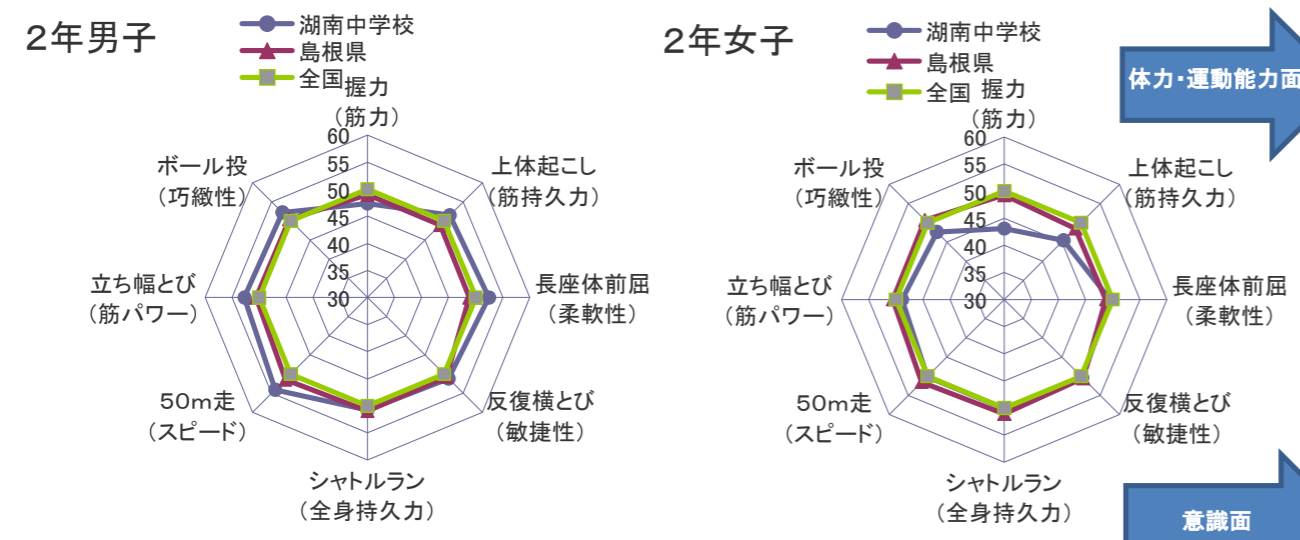
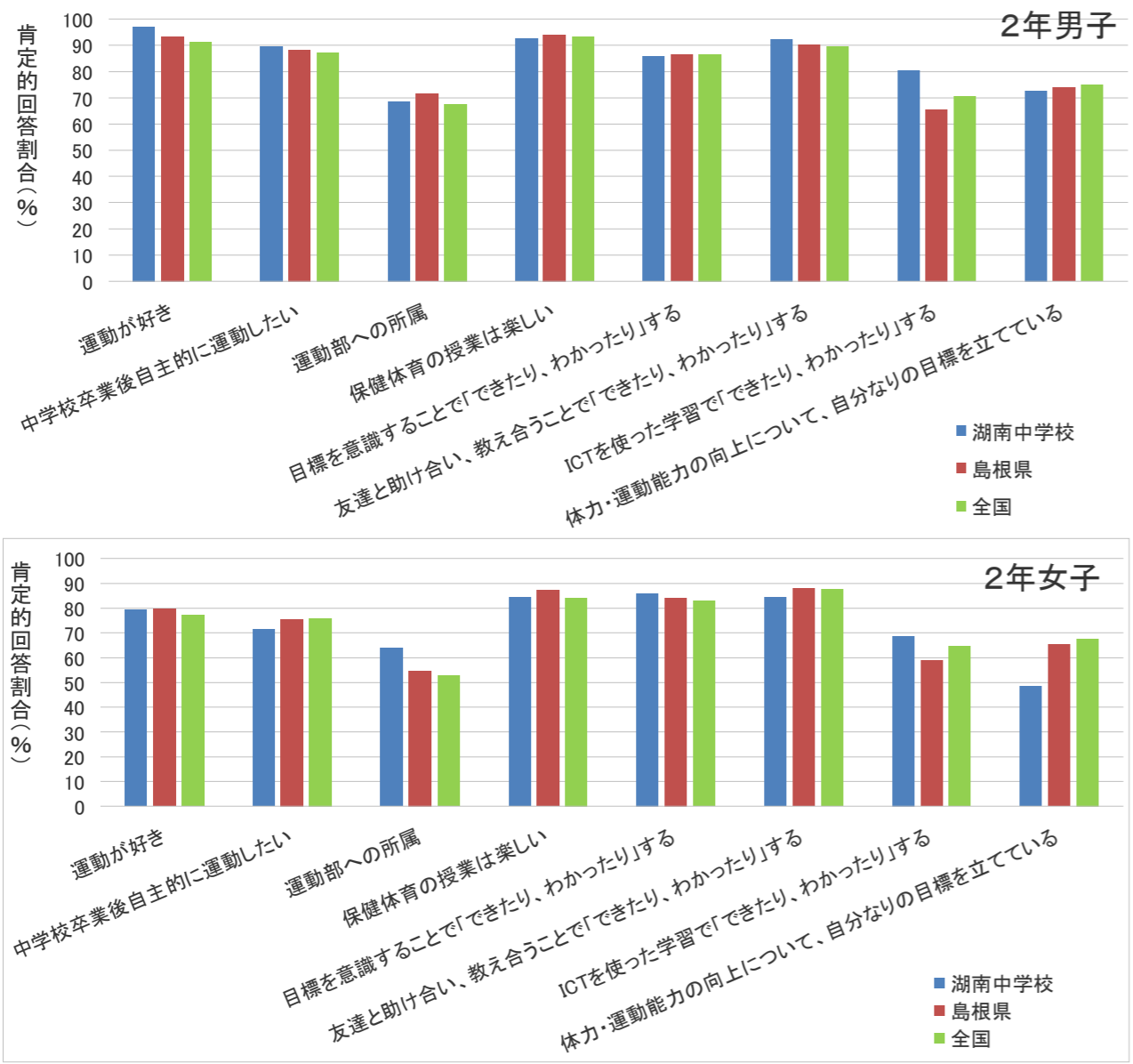


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シヤトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-2.6	1.5	2.4	1.2	0.8	4.1	2.7	2.2
女子	-6.9	-4.6	-0.5	0.3	0.1	0.1	-1.2	-2.4

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]

弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校卒業後自主的に運動したい	運動部への所属	保健体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	5.9	2.4	1.1	-0.6	-0.8	3.0	9.8	-2.2
女子	2.1	-4.5	11.2	0.2	3.1	-3.3	4.1	-19.3

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]

弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

- ・握力(筋力)は、男女共に全国平均に比べてマイナスポイントになっているので体育の授業の中で筋力が高まるような補強運動を取り入れていきたい。
- ・意識調査では、「体力向上について、自分なりの目標を立てている」が、男女共に全国平均に比べてマイナスポイントになっており低い数値を示した。保健体育の授業では、体を動かすことだけでなく生徒が自身の能力を客観的に評価し、目標設定の機会を設けるなど健康増進や体力向上の意識を持てるような授業をしていきたい。
- ・8年度の体力・運動能力調査を実施するにあたり、7年度の全体及び個人データを活用し、意識的に取り組めるように工夫する。
- ・各単元において身につく体力要素を示し、意識できるようにする。